

「公益財団法人日本拳法会」分裂についての経緯説明

日本拳法 西日本連盟

(公財)日本拳法会の分裂騒動で、選手・関係者の皆さまにはご心配・混乱を招いていることをお詫び申し上げます。

2021年2月13日の日本拳法会定例部長会において、「令和3・4年度役員改選」選挙が行われました。参加者全員の異議なく選挙が実施され、投票結果：茂野氏11票、山本氏18票(委任状4票含む)、白票2票となり、次期日本拳法会会長に山本隆造副会長が正式に選ばれました。

選挙後、茂野氏は選挙結果を認め「長らくみなさまにはご協力いただきありがとうございました。今後、山本新会長を支えて拳法会がますます隆盛になることを祈念しております」と発言されました。

※下記にある「日本拳法 西日本連盟ホームページ」にある、選挙当日の議事録および音声データをご確認ください。

<https://kempowest.jp/#minutes>



ところが、茂野氏は2日後に選挙の無効を主張し、強引に理事会を開催し、会長に就任したと主張。

その後日本拳法会は、従前の慣習に従い部長会における選挙で正式に選ばれた山本グループと、部長会において選ばれなかった茂野氏グループに分裂し、現在に至っております。その結果、様々な混乱をきたしましたが、私たちはこの混乱を收拾すべく、茂野氏が選任されたとする評議員会決議の無効確認・取消を求める民事訴訟および、茂野氏に対する刑事告訴を行っています。

私たちは、現在「日本拳法 西日本連盟」と名乗っていますが、2021年2月13日に実施された(公財)日本拳法会定例部長会での「令和3・4年度役員改選選挙」の選挙結果が正当なものであることが認められるまで、「日本拳法会」の正常化に向けた活動を続けていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

※統治機能(ガバナンス)上の問題 (会長選挙は有効)

(公財)日本拳法会 部長会が「最高意思決定機関」と日頃から発言され、理事会は部長会の決議を追認するものでした(部長会規定に明記されている)。

自らも部長会で会長に選出されてきたにも関わらず、前言を翻して2月15日以降、定款に則り拳法会の意思は理事会が決定するものと主張して、部長会の決議は無視されることとなりました。